スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

## 地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

# 山口県防府市


自 治 体 名 ： 山口県防府市
担 当 課 名 ： 教育委員会学校教育課
電 話 番 号 ： 0835-25-2241

# 1.自治体の基本情報

スポーツ庁

## 基本情報

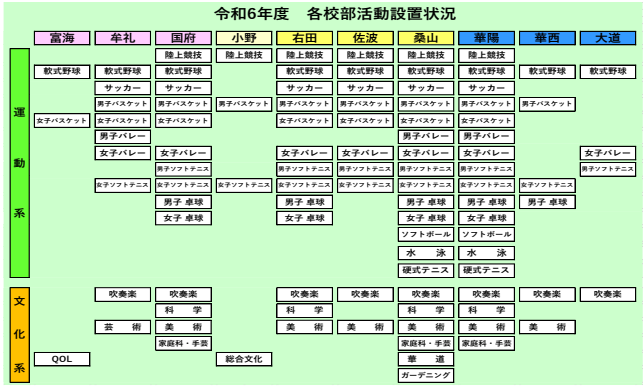
| | |
|---|---|
| 面積 | 189.37㎢ |
| 人口 | 111,758人 |
| 公立中学校数 | 11校 |
| 公立中学校生徒数 | 2,835人 |
| 部活動数<br>（運動部活動のみ） | 6部活 |
| 地域クラブ活動数 | 37クラブ |
| 市区町村の協議会・検討会議等の設置状況 | 設置済 |
| 市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況 | 策定済 |

## 地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

令和5年度には、中心部の学校には20種目の部活動が存在していたが、周辺部の学校には部活動が3種目しかなく、少子化の影響により、生徒数の減少が進むことで、各学校で体験できる活動に格差が広がっていた。今後急激な少子化が予想され、さらなる体験格差の拡大が予想されることから、令和6年度に地域クラブのモデル事業を実施し部活動の地域展開に取組んだ。まず、認定要件を整理することで地域クラブの形を明確化した。また、認定制度を整備し、令和7年度に向けた認定地域クラブの体制を作り、一部の部活動では地域展開を進めることができた。

これらの取組を進める中で、関係者の意識改革が進まないことから地域クラブの重要性や目的への理解が十分に得られていないことや、指導者の確保が難しく、地域クラブの運営に支障をきたしていることが問題となった。中には、従来の部活動が行われていた放課後の時間帯には、仕事をしているため、指導を希望していても地域クラブの指導者をあきらめてしまうケースもあった。また、低廉な会費での運営が難しく、運営資金の確保も課題となっている。受益者負担だけでは、クラブ活動を維持することが難しい団体もあり、公的な支援についても検討が必要である。地域クラブを持続的・安定的に運営するためには、これらの課題を整理し、解決に向けた取組を強化していく必要がある。



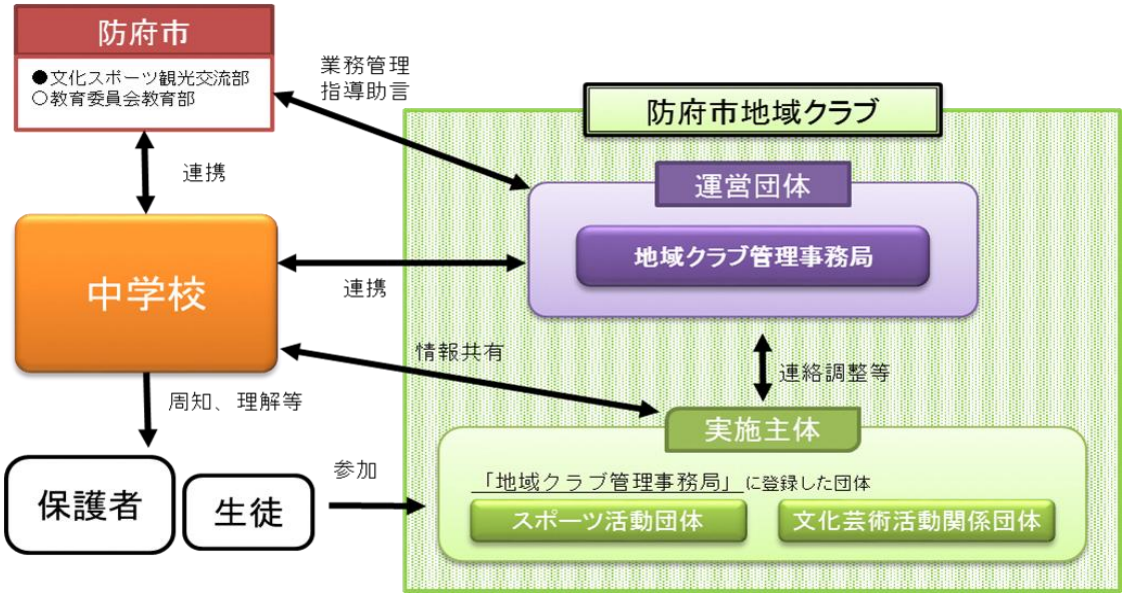

出典：防府市中体連調査（令和6年度 ）

# 2.実証内容と成果

スポーツ庁

## 運営体制・役割

### ●市区町村における推進体制図




### ●行政組織内での役割分担

**◉首長部局**

・スポーツ振興課・・・指導者の確保、活動場所の環境整備

・文化振興課・・・指導者の確保、活動場所の環境整備

**◉教育委員会（学校教育課、教育総務課）**

・学校や各競技団体、文化芸術団体との連絡・調整、活動場所の調整

・部活動改革推進会議の運営や県との連絡調整

・実施主体への監督・監査

## 年間の事業スケジュール

| | |
|---|---|
| 令和7年4月 | 認定地域クラブ活動開始 |
| 令和7年5月 | 地域クラブ活動状況の確認（保険の加入状況、緊急連絡先の確認等） |
| 令和7年6月 | 指導者へのヒアリング |
| 令和7年7月 | 第1回部活動改革推進協議会の開催 |
| 令和7年8月 | スポーツ系部活動から地域クラブへ移行 |
| 令和7年11月 | 文化系部活動から地域クラブへ移行 |
| 令和7年12月 | アンケート調査（生徒・保護者） |
| 令和8年1～3月 | 小学6年生・保護者対象の地域クラブ説明会の開催 |
| 令和8年1～3月 | 体験会の開催 |
| 令和8年2月 | 第2回部活動改革推進協議会の開催 |

# 2.実証内容と成果

スポーツ庁

## 地域クラブ活動の運営実績

### ①全体に関すること

| | | | |
|---|---|---|---|
| 実施した地域クラブ活動総数 | | 4クラブ | |
| ケース別地域クラブ活動数 | A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数） | | 4クラブ（15部活動） |
| | B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数 | | 0クラブ |
| 全体の指導者数 | 20人 | 全体の運営スタッフ数 | 20人 |

### ②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

| 地域クラブ活動名 | 運営団体種別 | 種目 | 実施回数（平日・休日） | 実施時間帯 | 参加者（学年別） | 実施期間 | 指導者数 | 運営スタッフ数（他クラブと兼務） | 会費 | 大会参加方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 防府東ベースボールクラブ | 複数の部活動が統合して設立した団体 | 野球 | ・平日 3回<br>・休日 1回 | 平日16:30～18:30<br>休日8:30～11:30 | 1年 6人<br>2年 7人<br>3年 16人 | 令和7年4月1日～令和8年1月31日 | 3人 | 0人<br>（内、兼務0人） | 月会費5,000円 | 地域クラブ |
| 防府クラブ | 複数の部活動が統合して設立した団体 | 野球 | ・平日 4回<br>・休日 1回 | 平日16:30～18:30<br>休日8:30～11:30 | 1年 20人<br>2年 7人<br>3年 11人 | 令和7年4月1日～令和8年1月31日 | 3人 | 0人<br>（内、兼務0人） | 月会費5,000円 | 地域クラブ |
| FCアルトゥーラ | 複数の部活動が統合して設立した団体 | サッカー | ・平日 3回<br>・休日 1回 | 平日17:00～19:00<br>休日9:00～12:00 | 1年 52人<br>2年 25人<br>3年 0人 | 令和7年4月1日～令和8年1月31日 | 7人 | 0人<br>（内、兼務0人） | 月会費6,000円<br>年会費12,000円 | 地域クラブ |

### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

●各地域クラブへ体験会及び説明会の実施を依頼し、1月から3月にかけて実施日程を設定してもらった。
その日程を取りまとめたうえで、各小中学校へ周知を行い、生徒や保護者に体験参加の機会を提供した。

# 2.実証内容と成果

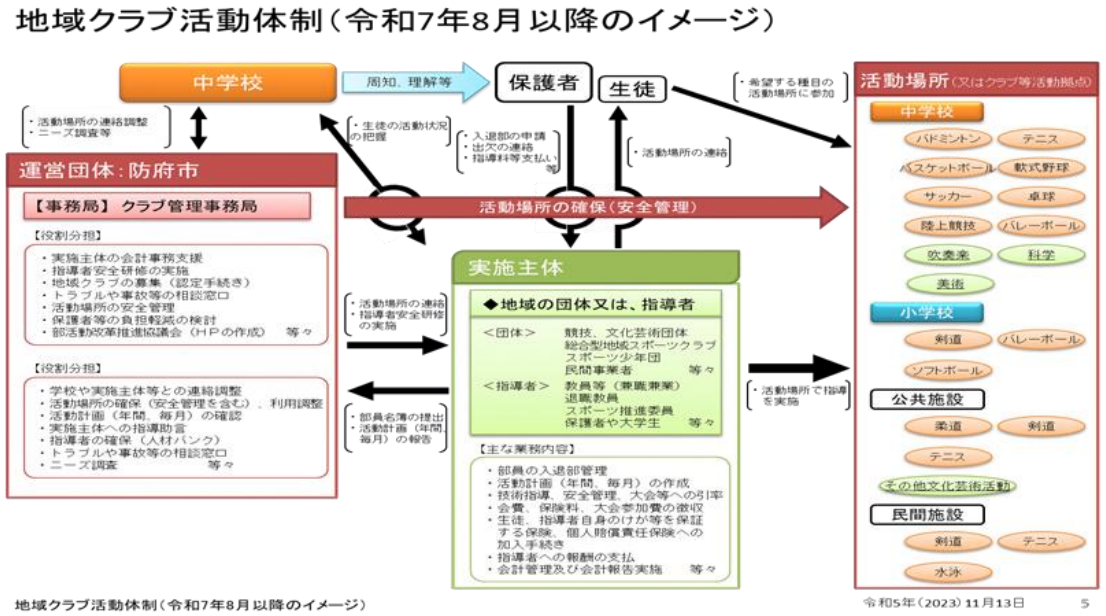
スポーツ庁

## 主な取組例

### ●防府市地域クラブ　活動概要

| | |
|---|---|
| 地域クラブ活動で実施<br>した種目 | サッカー、野球 |
| 運営団体名 | 各クラブ団体 |
| 期間と日数 | サッカー：4月1日～1月31日<br>月16回程度<br>野　球　：4月1日～1月31日<br>月20回程度 |
| 指導者の主な属性 | 中学校教員、地域指導者 |
| 活動場所 | 公立中学校の体育館およびグラウンド |
| 主な移動手段 | 自転車、徒歩、保護者の送迎 |
| 1人あたりの参加会費等（年額） | サッカー：84,000円<br>軟式野球：60,000円 |
| 1人あたりの保険料 | スポーツ安全保険<br>生徒1人あたり：800円/年<br>指導者1人あたり：1,850円/年 |

### ●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図




### ●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

●自治体

役割：会場の安全管理及び各クラブの会計事務の補助業務、トラブル等の窓口相談、指導者研修の開催、全体の調整。

●地域クラブ代表者

役割：クラブの会計等の事務処理、保護者連絡。

●地域クラブ指導者（3～7名）

役割：活動における生徒への指導、大会引率と生徒の出欠状況の確認。

# 2.実証内容と成果



スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

#### 取組事項

○令和7年末までに学校部活動から地域クラブへの完全移行を目指し、地域クラブ活動を運営する上で生じる連絡手段や学校との連携等の課題を把握し、適切に解決するため、統括コーディネーターが中心となってサポートを行う。

○統括コーディネーターは、課題解決に向けて学校と行政、運営団体、地域スポーツ指導者等との連絡調整を行い、学校部活動改革推進協議会を開催して課題解決のための意見や助言を集約する場を設ける。

○実施主体においては、クラブ運営の経験が少ないため、これらの課題を整理し、各団体の運営を支える持続可能な組織体制の整備を進める。

#### 取組の成果

○クラブ内の連絡手段としてGoogle Classroomを活用し、生徒が学校にいる時間帯でも指導者と安全に連絡を取れる環境を整備した。

○地域クラブから学校への連絡票提出の仕組みを整備し、入会した生徒の活動状況等を整理した内容を年3回（6月、12月、2月）学校の学期に合わせて提出することとした。この取組により、学校は生徒の情報を把握し、進路指導等のための情報共有の充実が図られた。

#### 今後の取組における課題

○学校部活動から地域クラブへの移行に関して、関係者間での理解が十分に進んでおらず、協力を得ることが課題となっている。特に学校との連携においては、地域展開の趣旨や役割分担が十分に共有されていない場面が見受けられる。

○地域クラブの自立及び継続的な運営を目指して支援を行っているが、クラブ間で主体性や運営力に差があり、行政への依存度にもばらつきが見られる。

○事故やけが、ハラスメント等に関する安全管理およびリスク対応について、指導者間で理解に差があることが確認された。特に、教員と地域指導者との間で認識や経験に違いがあることが明らかになった。

#### 課題への対応方針

○関係団体向け説明会の開催や、小中学校へのリーフレット作成・配布を継続し、取組の趣旨及び役割分担について周知を行い、理解の促進を図る。

○地域クラブの持続的かつ安定的な運営が可能となるよう、支援の目的や趣旨を丁寧に説明し、事務作業等をクラブ内で継承できる体制の構築を支援することで、段階的な自立を促進する。

○事故発生時の対応から保険請求までの一連の流れをマニュアル化し、その内容を説明会等を通じて各クラブに周知することにより、安全管理及びリスク対応に関する共通理解の確立を図る。

# 2.実証内容と成果



## 取組内容

### ●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

#### コーディネーターの具体的な動きの実績

○地域クラブへの移行を円滑に進めるため、行政、学校、関係団体等の間に立ち、情報共有及び連絡調整を実施した。

○具体的には、教員や関係競技団体、各クラブとの連絡や打ち合わせを行い、地域展開の進捗状況や課題についての情報を共有した。

○活動時間、施設利用、指導体制等に関する調整を行い、運営上の課題や保護者対応に関する相談を受けた上で、関係機関と連携し、対応策の検討及び調整を行った。

○得られた課題や事例を整理し、今後の地域クラブの拡充に向けて関係者に周知した。

#### 地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

○地域クラブ活動の運営効率化を目的とし、活動状況を定期的に把握し、整理するための仕組みを構築した。

○具体的には、各地域クラブに毎月活動計画表の提出を求め、週ごとの活動日数や試合・大会への参加頻度等について確認した。

○提出された内容を基に、活動方針や活動頻度等を把握し、ガイドラインに従い改善点を整理した上で、必要に応じてクラブに対し、活動計画の見直しや休養日の設定に関する助言を行った。

#### 運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

○病院や保護者の連絡先、AED設置場所等を記載した緊急連絡票を作成することを義務化し、活動時間中に速やかに確認できる状態で緊急連絡票を適切に管理する体制を整備した。

○各地域クラブから提出された活動状況を基に、週当たりの活動日数や試合・大会への参加頻度を把握し、過度な活動により生徒の心身に負担がかかるおそれがないかを確認した。その結果、改善が必要であると認められる場合には、休養日の確保や活動計画の見直しについて運営団体に助言し、安全面に配慮した運営が行えるよう指導した。

#### 地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

○初動対応及び救急手続きに関する手順を明確化した対応マニュアルを整備した。また、市独自の指導者研修会を実施し、上記内容の徹底を図った。

○活動中にトラブルや事故が発生した場合、指導者が初期対応及び状況把握を行い、その後、内容に応じて保護者と連携し対応することを基本方針とした。事故の内容や関係者の範囲に応じて対応方法や協議の進め方を整理し、話し合いの際に確認すべき事項、保険適用の可否及び手続きについて明らかにした。また、救急処置対応のフローチャートや保険手続きの流れをマニュアルに示し、事故発生時に迅速かつ適切な連絡調整及び対応が行える体制を構築した。

# 2.実証内容と成果



スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

#### 取組事項

○地域クラブ活動において、種目によっては入会希望者数に対し指導者が十分に確保できていない状況が見受けられたことから、統括コーディネーターを中心に指導者確保に向けた取組を実施した。具体的には、各競技団体や大学を訪問し、指導者の紹介や推薦に協力を依頼するなど、関係機関との連携を強化し人材確保を進めた。

○市報、市ホームページ、リーフレット等を活用し指導者募集を行うとともに、学校部活動から地域クラブ活動への移行についての周知を図り、指導者確保に向けた理解促進に努めた。

#### 取組の成果

○市報等を活用した周知活動を通じて、指導者募集や地域クラブ活動に関心を持った市民からの問い合わせや相談があり、指導者確保及び地域クラブ活動の周知が進展した。

○周知活動により、自治会等からの推薦で新たな指導者を確保することができた。その他、競技団体等や企業等を通じて協力依頼を行い、指導者確保のネットワークを拡大した。

○既存の学校部活動にはなかった種目についても、地域クラブとして新たに応募があった。（タグラグビー、ドッジボール、フットサル）

#### 今後の取組における課題

○教員と地域指導者では勤務体系や地域活動への参加に対する理解度に差があるため、活動時間帯での参加が難しい場合があり、指導体制の確保が課題となっている。

○事故やけが、ハラスメント等に関する安全管理及びリスク対応について、指導者間で理解度に差が見られ、共通理解の醸成が求められている。

○地域クラブ活動全体として指導者数が十分でないため、安定的な活動を継続するためには引き続き人材確保の取組が必要である。

#### 課題への対応方針

○指導体制が比較的整っている地域クラブにおける取組内容を把握し、指導者間の相互支援や活動内容の事前共有等、運営面での工夫を好事例として整理・共有することにより、他クラブの運営改善に活かすための体制を整備する。

○指導者や保護者からの相談があった場合、市がヒアリングを実施し、必要に応じて関係者間の調整を行うとともに、対応内容や発生した事案について内部で共有し、再発防止に向けた取組を推進していく。

# 2.実証内容と成果



スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

#### 多様な人材の発掘・配置に向けた取組

○地元企業に対して指導者派遣の協力を依頼するとともに、地元の大学に対しても指導者募集を行い、学生等の参加を促進した。

○これにより、従来の部活動に関わっていなかった人々にも地域クラブ活動の移行に関する情報を提供することができ、地域クラブ活動への理解と協力を拡大することにつながった。

#### 指導者研修の内容

| | |
|---|---|
| **研修名** | 令和7年度防府市地域クラブ活動に係る指導者研修会 |
| **講師** | 大学副学長、コーディネーター、消防署員 |
| **研修内容** | ・防府市中学校部活動の地域展開及び地域クラブの運営についてガイドラインの説明<br>・スポーツ・文化活動の指導におけるコンプライアンスとガバナンスについて。<br>・指導者の役割と心構えについて<br>・中学生との向き合い方について<br>・実例を踏まえた新たな地域クラブの在り方やクラブの運営について<br>・救急救命についての講義及び実技 |

#### 指導者研修受講者の声

**●参加者の声**

**参加者①**
・地域クラブの在り方や指導者としての心構え等、とてもわかりやすい説明でした。
・胸骨圧迫を体験できてよかったです。今まで何度も体験していても久しぶりにやると不安で不確かな事も多く、いざという時に対応できるようにするためには、救命講習を定期的に体験する必要を感じました。

**参加者②**
・中学生の向き合い方について、まじめに取組んでいる生徒へ、迷惑行為をする生徒がいた場合の適切な対処方法を知りたかった。

**参加者③**
・休憩の時に他クラブの指導者の方が声をかけてくださいました。活動のタイミングが合う際にクラブ間交流ができるとよいというありがたいお話でした。まだまだクラブもスタートしたばかりで実現には時間がかかるとは思いますが、今後、活動がより広がりのあるものにしていけるという期待をもちました。

# 2.実証内容と成果



スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

#### 指導者の資格取得促進に向けた取組

○地域クラブ活動に参加する生徒が、安心で質の高い指導を受けることを目的として、地域クラブ活動に携わる指導者に対し、公認指導者資格（中体連の大会に出場するための資格）を取得した際に係る経費について、補助事業を実施した。

○補助を受けるための要件は、①市税の滞納がないこと②資格取得後において、防府市地域クラブ活動の指導者として協力できるもの③職業スポーツ従事者でないもの④他の機関等から同一の目的で交付される補助金等を受けていないものとして、防府市で地域クラブ活動に関わり続けていく方を対象とした。

○補助対象となる経費は、公認指導者資格取得に必要な講習会等の参加費用及び資格取得に要する経費（受講料、負担金、資料代等の参加料及び登録料）とし、旅費、宿泊費、資格登録の更新に必要な経費は対象外とした。

○補助率は10分の10とした。

| | |
|---|---|
| 本年度資格取得経費を補助した指導者 | 15人 |

#### 平日・休日の一貫指導に関する取組

○当市では、令和5年度の取組当初から、平日・休日を通じた一貫指導の実現を目的として地域展開に取組んだ。

○これは、休日のみを先行して移行し、その後平日を移行する段階的な方法では、平日と休日で体制や指導方法が分かれるため、平日・休日を同時に地域クラブ化する場合に比べ、指導負担が大きくなるという現場の声を考慮したものである。

○そのためモデル事業も、部活動を平日・休日を同時に地域クラブ化する取組とし、令和8年度には平日・休日同時に、部活動の地域クラブ化へ完全移行することとした。

# 2.実証内容と成果



スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名　キ：学校施設の活用等

#### 取組事項

○放課後の体育館等の学校施設については、従来、地域の社会教育団体が利用していた経緯があり、平日の地域クラブ活動の時間帯が既存の団体と重なることがあった。そのため、施設の優先利用及び運営方法について検討を行った。

○予想を上回る入会者数があった場合には、安全性を考慮し、会場の拡張等、柔軟な対応を行った。

○施設利用状況の把握を目的として、小学校の体育館の使用状況を調査するとともに、屋外で活動する地域クラブが購入した照明器具を効果的に活用できるよう、コンセントの増設などの環境整備を実施した。

#### 取組の成果

○入会者数が予想を上回ったクラブにおいて、活動場所の拡張が必要となった場合、事前に社会教育団体へ書面で通知し、円滑に会場の変更を実施した。変更後の活動場所については、社会教育団体の活動に支障をきたさないよう調整し、地域クラブが中学校の施設を中心に活動できるよう、小学校の空き施設を活用する等、適切な代替施設を確保した。

○仮設の照明設備を活用することで、日没が早い時期においても安全に活動時間を延長することができ、生徒の活動機会の拡充につながった。

#### 今後の取組における課題

○地域クラブ活動における利用可能な会場数が不足しており、活動の規模や実施に十分な施設を確保することに制約が生じている。

○小学校の施設利用に関するルールが統一されておらず、学校間で運用方法に差異が生じている。

○指導者が活動可能な19時～21時の時間帯については、すでに社会体育団体が施設を利用している場合があり、そのため会場確保が困難となることがある。

#### 課題への対応方針

○地域クラブ活動における会場確保については、運営・管理体制の継続的な整備を行い、安定的な活動が行える環境の維持に努める。

○中学校以外の施設については、利用可能な時間帯や条件を踏まえ、地域の関係団体に協力を依頼するなど、活用の幅を広げる取組を進める。

○活動時間に対応可能な指導者の確保と併せて、地域住民や関係団体への周知を継続的に行い、地域クラブ活動の理解促進と円滑な地域展開に努める。

# 2.実証内容と成果



スポーツ庁

## 取組内容

**●取組項目名　キ：学校施設の活用等**

### 学校施設利用上の負担軽減に向けた取組

○予想を上回る入会者数となったクラブにおいては、限られた活動スペースでの運営が求められ、指導者および生徒に負担がかかる状況が発生していた。このため、活動場所を拡張し、十分なスペースを確保することで、安全性及び活動の質を維持しつつ、クラブ運営にかかる負担を軽減することができた。

○地域クラブ団体が専用会場を年間を通じて安定的に利用できるよう、学校施設利用の申請を年一回で済む仕組みを整備した。この改善により、クラブ側は申請手続きにかかる負担を大幅に軽減し、学校側も施設管理にかかる手間を抑えることができた。

○施設の鍵の受け渡しに関する手間を削減するため、キーボックスを設置した。これにより、クラブは活動開始前に迅速に施設を利用できるようになり、学校側の鍵管理の負担も軽減され、双方にとって利便性が向上した。

---

### 用具使用・管理等における取組

○従来、部活動で使用されていた学校備品のうち、授業等で使用されなくなった用具については、学校から寄付を受け、必要な地域クラブに配付した。具体的には、卓球のピン球、バレーボール、ボールかご、ブロック板、ネット等を地域クラブの活動に必要な用具として再活用した。

○部活動の廃止に伴い、使用予定のなくなった部室については、地域クラブが道具を保管できるよう、学校との調整を行い、スペースの確保を実現した。

○使用できなくなった卓球台が学校備品として保管されていたため、修繕費を補助し、地域クラブ活動で安全に使用できる状態に復旧した。

○屋外用照明については、従来、19時から2時間単位での利用が一般的であったが、運用方法を見直し、17時から1時間単位で利用できるように変更した。この変更により、日没が早い冬季においても、早い時間帯から安全に活動できる環境を整備することができた。

# 2.実証内容と成果①

スポーツ庁

## 総括・成果の評価・今後に向けて

### ●総括

○本市の地域クラブ実証事業においては、クラブ運営の持続性及び安定性を確保することを目的として、財政面および運営面での支援を実施した。

○補助金の活用により、クラブは自主的に適切な会費額、指導者の人数、活動頻度などを検討し、計画的な運営を行うことが促進された。

○クラブの立ち上げに際しては、会計担当者及び代表者に対して詳細な説明を実施し、スポーツ安全保険の加入手続きや各種競技会への登録・参加方法についても十分な支援を行った。これにより、会計管理や安全管理、競技参加に関する基盤を確実に整備することができた。

○また、指導者や保護者からの相談に対しては、関係者へのヒアリングを行い、相談内容に応じて調整を行った。この取組により、指導体制や活動内容に関する課題を早期に発見し、迅速に対応することが可能となった。本事業を通じて、クラブは運営における自主的な判断を行いながら、市の支援及び調整体制の構築を進め、地域クラブの持続的かつ安定的な運営基盤を整備することができつつある。

### ●成果の評価

○地域クラブの運営においては、加入する生徒数に応じて活動内容に差異が生じることが確認された。加入者数が多いクラブでは、会費の余剰分を保護者への還元や会費の低廉化に充てることが可能となった。一方、加入者数が少ないクラブでは、会費が十分に確保できず、指導者の出勤調整や指導頻度の制限が発生する場合もあった。

○市は、地域クラブの持続性及び安全性を確保するため、会費設定や運営方法に関する助言・調整を行い、地域クラブが一般のクラブに比べて整備された環境で活動できるよう支援をした。しかし、地域住民や指導者に対して地域クラブの趣旨や市の支援内容を十分に周知できていない場合があり、一部では運営に関する疑問や不満が生じていたことが確認された。

### ●今後に向けて

○今後、地域クラブ活動をさらに拡大していくにあたり、指導者への謝金を十分に確保できないクラブや、運営事務を自らで行うことができないクラブに対しては、適切な支援方法を検討する必要がある。

○新たにクラブが立ち上がる場合に備え、学校施設等の活動場所が十分に確保できるかどうかを事前に調査し、調整を行うことが求められる。

○少子化に対応した地域クラブ化の趣旨や市の支援内容について、地域住民や指導者への周知を一層進めることが、地域クラブ活動の持続的・安定的な運営につながると考えられる。

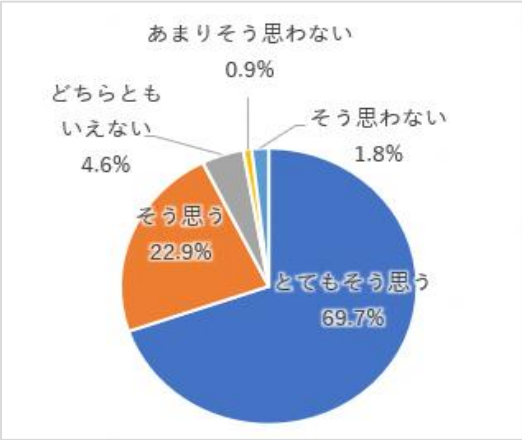
# 2.実証内容と成果②

スポーツ庁

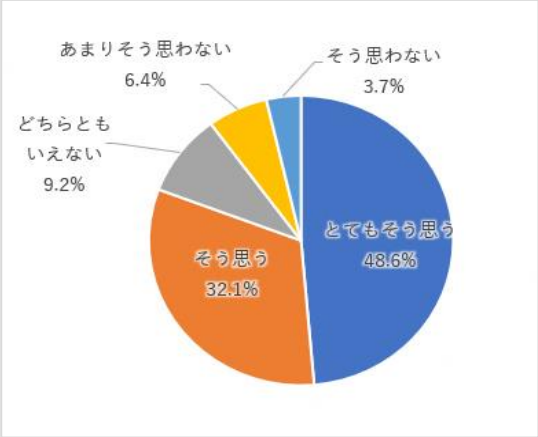
## アンケート結果・参加者/関係者の声

**●アンケート　（実施時期：令和8年1月　対象者：市内全ての中学校1・2年生　回答者数：1,204人）**

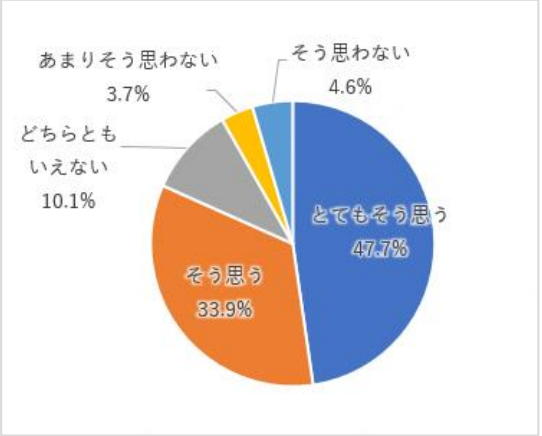
Q.地域クラブは楽しいですか？



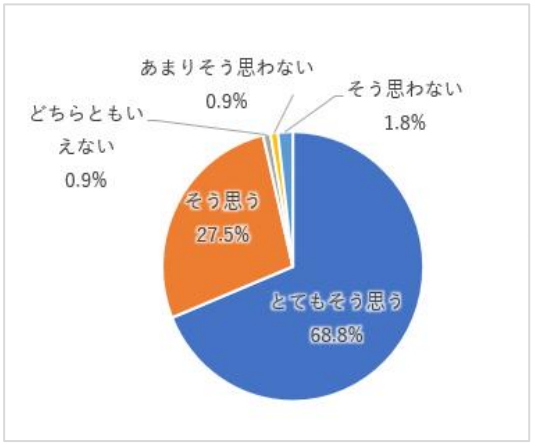

Q.練習や活動回数はちょうどよいですか？



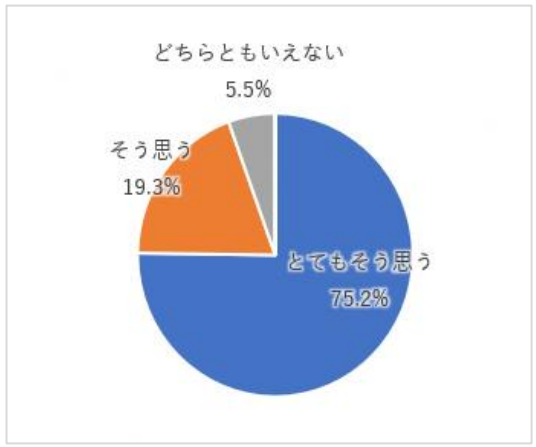

Q.大会や練習試合など休日の活動の回数はちょうどよいですか？



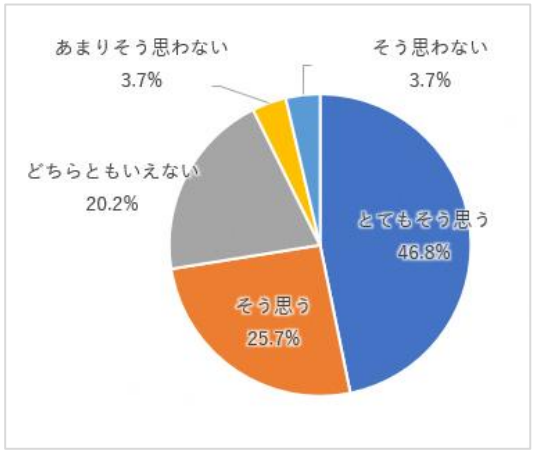

Q.指導者はわかりやすく指導してくれますか？




Q.仲間と楽しく活動できていますか？




Q. 中学を卒業しても、今の活動を続けていきたいですか？



# 2.実証内容と成果③

スポーツ庁

## 参考資料



【軟式野球クラブ：防府ジャイアンツの様子】




【サッカー：FCアルトゥーラ　紅白試合の様子】

# 2.実証内容と成果

スポーツ庁

## 地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

| 令和4年 | 令和5年 | | 令和6年 | 令和7年 | 令和8年 |
|---|---|---|---|---|---|
| 防府市部活動改革推進協議会の設置 | クラブ管理事務局の設置<br>柔道・剣道の実証事業開始 | 各競技団体への説明<br>モデルクラブ選定 | 柔道・剣道、軟式野球、吹奏楽のモデル事業開始 | 軟式野球、サッカー、吹奏楽のモデル事業実施 | 完全地域クラブ化<br>地域クラブの継続 |

**●ステークホルダー**

柔道・剣道クラブ、軟式野球クラブ、

**●経過**

柔道1団体、剣道3団体、軟式野球3団体を、地域クラブ活動のモデル事業として運用を開始。

**●実施にあたって生じた課題**

会場が遠い生徒の送迎の問題、安全に活動するための会場整備、活動に必要な道具の準備、道具の保管場所など学校の協力体制等が挙がってきた。

**●実施内容、工夫した点 等**

自立したクラブ運営のために、会計事務担当者に説明会を開き、事務処理の支援を行った。

**●ステークホルダー**

サッカー、バレーボール、ソフトボール、バスケットボール、ソフトテニス、卓球

**●経過**

それぞれの種目でクラブ化の準備作業を行う。受け入れ団体と活動場所の確保を行う。

**●実施にあたって生じた課題**

指導者の確保が一番の課題である。夕刻の時間帯に地域の方で指導できる方がいない。夜間の活動を含めて指導者と会場確保が厳しい状況である。

**●実施内容、工夫した点 等**

県主催の指導者研修会に参加することを指導者資格の条件とした。

会場を確保するために地域クラブが優先利用できる体制を整えた。

**●ステークホルダー**

軟式野球、サッカー

**●経過**

令和7年8月からスポーツ、11月から文化部が地域クラブ化した。

**●実施にあたって生じた課題**

地域クラブの自立及び継続的な運営を目指して支援を行っているが、クラブ間で主体性や運営力に差異が見られ、その結果、行政への依存度にも差が生じている。
保護者からはクラブ化に対する懸念があり、一般のクラブと比較した場合の、安全面や金銭面の整備状況について、十分に理解されていない部分がある。

**●実施内容、工夫した点 等**

クラブ立ち上げ時には、会計担当者や代表者に対して複数回の説明を実施し、必要な経費に対して補助を行った。また、指導者や保護者からの相談に対しては、クラブ管理事務局がヒアリングを行い、必要な調整を実施した。

# 3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

## 地域クラブ化までの移行スケジュール

防府市 Hofu city

| 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 | 令和８年度 |
|---|---|---|---|

国・県の改革推進期間（休日の地域移行）

改革実行期間（平日の移行）

防府市部活動改革推進協議会（平日および休日の移行）

► 地域クラブ管理事務局の設置

地域クラブ認定

実証実験事業

モ デ ル 事 業

完全地域クラブ化 & 部活動終了

### 実証実験内容

1 対象
〇市内中学校運動部
・柔道　・剣道

2 内容
〇地域クラブ化（休日）
・柔道部（2校）を1チーム
・剣道部（6校）を3チーム
〇地域の指導者による指導及びチーム運営に係る事務等

### モデル内容　1

1 対象
市内中学校【柔道１・剣道３】
運動部【 軟式野球 ３ 】
文化部【 吹 奏 楽 ３ 】

2 内容
〇地域クラブ化　（平日＆休日）

〇地域の指導者による指導及びチーム運営に係る事務等
※ 会費の集金、指導者謝金

### モデル内容　2　＋　認定

1 対象
運動部【 軟式野球３　サッカー１　ソフトボール１
バレーボール３　バスケットボール３
卓球３　ソフトテニス２　バドミントン３】
文化部【 吹奏楽３　科学２　美術４　家庭科２
華道３　図書館クラブ１ 】

2 内容
〇地域クラブ化　（平日＆休日）
〇地域の指導者による指導及びチーム運営に係る事務
※ 会費の集金、謝金の支払い、大会の引率
税金の納入、必要経費の購入